

関係各位



センチュリー・システムズ株式会社
代表取締役 田中 邁

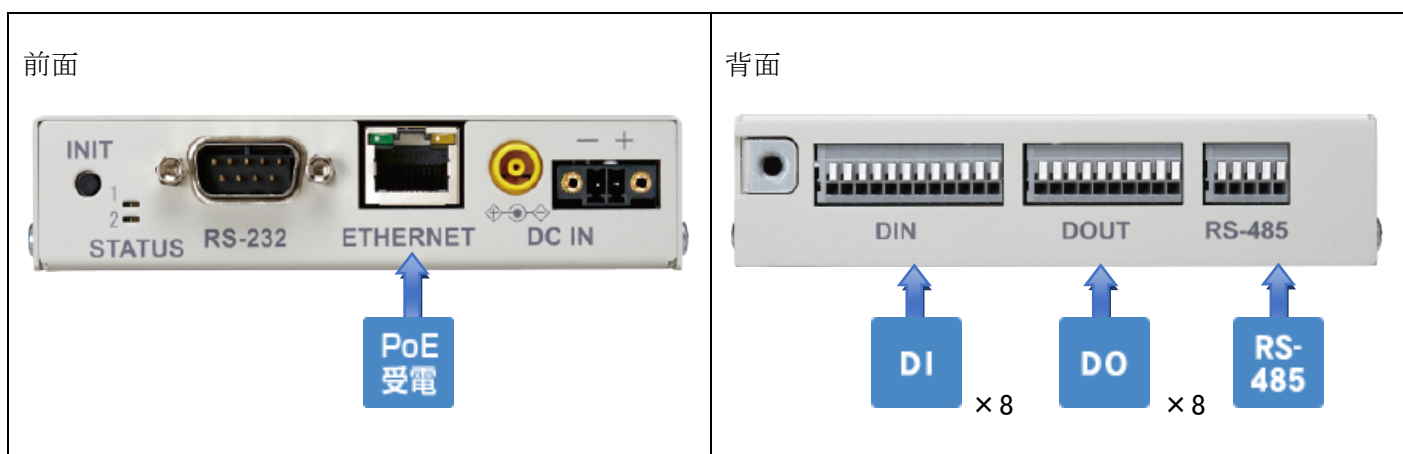
モバイル機器と連携が容易、センサー⇔LAN変換を制御 プロトコル変換ボックス FutureNet XIO-100 発表のご案内

センチュリー・システムズ株式会社(本社:東京都武蔵野市、代表取締役:田中邁、以下:センチュリー・システムズ)は、接点機器とモバイル機器を連携し、接点機器の遠隔管理を容易にするプロトコル変換ボックス『FutureNet XIO-100』を発表し、【IoT/M2M 展(秋)】※に参考出展します。

プロトコル変換ボックス FutureNet XIO-100 は、接点入力×8、接点出力×8、RS-485、Ethernet×1(PoE 受電対応)を持ち、シリアル⇔LAN 変換や、接点延長など、幅広い利用ができます。



【 図 1 FutureNet XIO-100 】



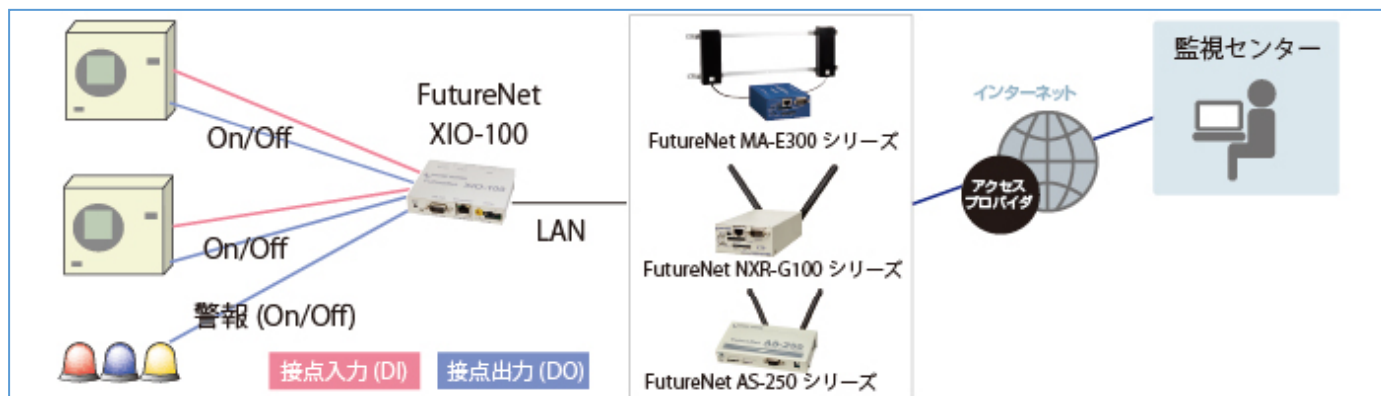
【 図 2 FutureNet XIO-100 のインターフェース 】

※ 【IoT/M2M 展(秋)】 2015年10月28日～30日 幕張メッセ ホール4 小間番号:15-57に出展します。

/// FutureNet XIO-100 の特長 ///

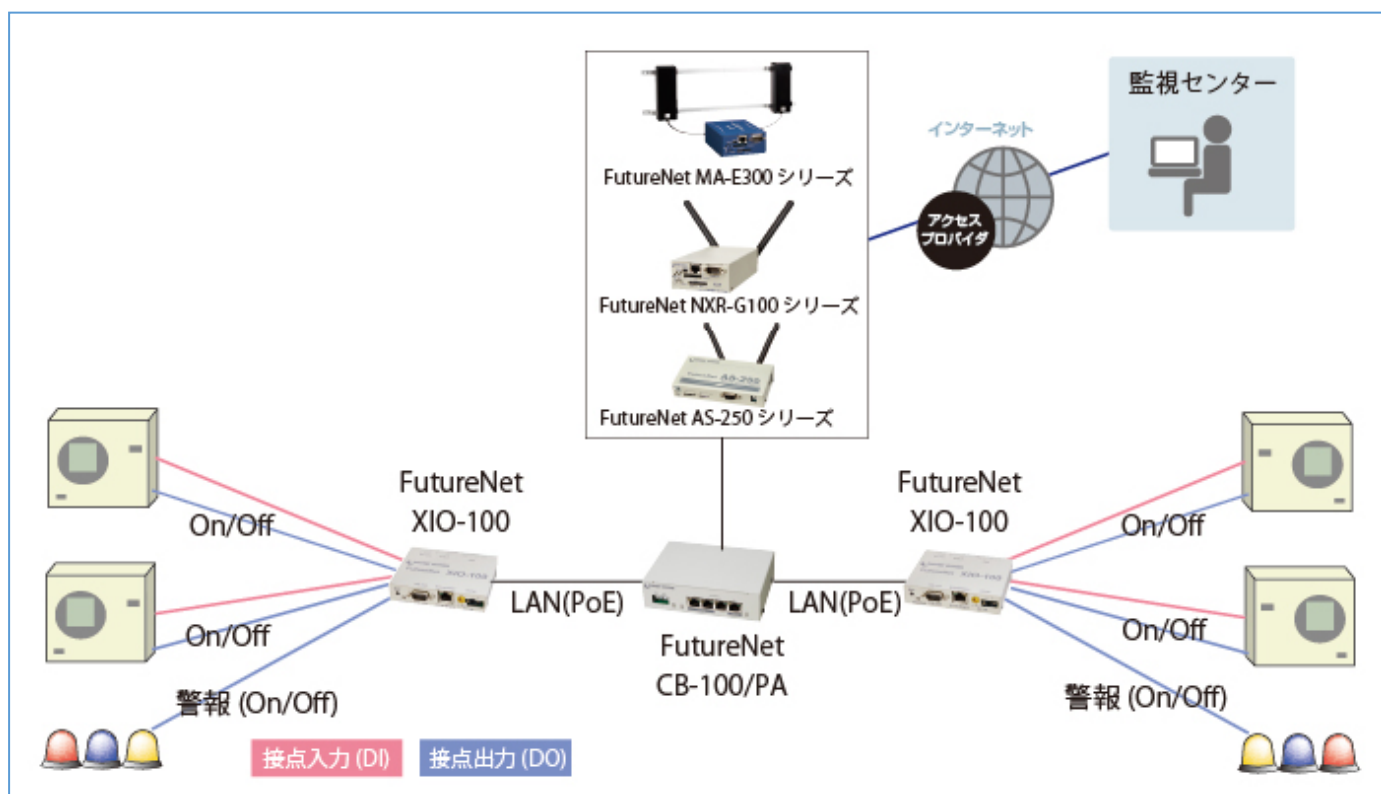
■ モバイル機器との連携が容易

FutureNet XIO-100 は、当社 M2M 機器との連携し、接点機器の遠隔管理を容易にします。



■ LAN の構築

FutureNet CB-100/PA と組み合わせて、接点 LAN が構築できます。



■ 接点信号を遠隔延長

FutureNet XIO-100 を用いて、接点信号を LAN 通信を介して延長できます。

※ 上記機能は、現在想定 of 機能となります。

/// センチュリー・システムズ株式会社について ///

センチュリー・システムズは、エンタープライズから組み込み、IoT/M2M システム開発などネットワーク分野を中心に、ハードとソフトの開発をおこなう開発会社です。FutureNet®ブランドでの自社製品の提供を中心として、製品のカスタマイズや新規開発を含む受託開発、OEM 提供、ASP・クラウドサービス (WarpLink®)の提供をおこなっています。受託開発では M2M、センサネットワーク、遠隔監視制御、高信頼ネットワーク、専用ゲートウェイなどの装置/システム開発や通信プロトコルのライセンス提供などで幅広い実績を持っています。

- ・会社名 : センチュリー・システムズ株式会社
- ・所在地 : 東京都武蔵野市境 1-15-14
- ・代表者 : 代表取締役 田中 邁
- ・事業内容: ネットワーク製品ブランド FutureNet シリーズの開発・販売、製品のカスタマイズ、OEM 提供、IoT/M2M システム開発、受託開発、コンサルティング、ASP・クラウドサービス

● お問い合わせ先

FutureNet X10-100 に関するご質問、お問い合わせは弊社営業部までお願いします。

なお、ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

電話 0422-37-8112

FAX 0422-55-3373

電子メール press-release@centurysys.co.jp ホームページ <http://www.centurysys.co.jp/>

以上、新製品の紹介とさせていただきます。何卒よろしくお取り計らいの程、お願い申し上げます。

・「FutureNet」、「WarpLink」はセンチュリー・システムズ株式会社の登録商標です。

・その他、文中の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標、サービス名称です。